

よしだ しゅういち  
吉田 修 一

\* 昭和43年9月14日 長崎市生まれ



写真:WEB本の雑誌より転載

## ○ 略歴

大学卒業後、アルバイト生活を送りながら、24歳から小説を書き始める。

- 平成9年 (29歳) 「最後の息子」で第84回文学界新人賞を受賞し、作家デビュー  
同作が第117回芥川賞候補となる
- 平成14年 (34歳) 「パレード」で第15回山本周五郎賞を受賞  
「パーク・ライフ」で第127回芥川賞を受賞
- 平成18年 (38歳) 朝日新聞に「悪人」連載  
「7月24日通り」映画化(タイトル「7月24日通りのクリスマス」)
- 平成19年 (39歳) 「悪人」で第61回毎日出版文化賞と第34回大佛次郎賞を受賞
- 平成21年 (41歳) 「ひなた」「悪人」が第2回ポラナビ著作翻訳賞受賞作品となる
- 平成22年 (42歳) 「悪人」映画化  
「横道世之介」で第23回柴田錬三郎賞受賞
- 平成25年 (45歳) 「さよなら溪谷」、「横道世之介」が相次いで映画化
- 平成28年 (48歳) 「怒り」が映画化  
下期より芥川賞選考委員となる

## ○ 主な受賞歴

- |       |                          |                     |
|-------|--------------------------|---------------------|
| 平成9年  | 第84回文学界新人賞               | 「最後の息子」             |
| 平成14年 | 第15回山本周五郎賞<br>第127回芥川賞   | 「パレード」<br>「パーク・ライフ」 |
| 平成19年 | 第61回毎日出版文化賞<br>第34回大佛次郎賞 | 「悪人」<br>「悪人」        |
| 平成21年 | 第2回ポラナビ著作翻訳賞             | 「ひなた」「悪人」           |
| 平成22年 | 第23回柴田錬三郎賞               | 「横道世之介」             |

## ○ その他の代表作

熱帯魚(平13)、日曜日たち(平15)、東京湾景(平15)、長崎乱楽坂(平16)  
女たちは二度遊ぶ(平18)、初恋温泉(平18)、元職員(平20)

太陽は動かない（平24）、路（ルウ）（平24）、愛に乱暴（平25）